

令和4年2月15日掲載

熊本日日新聞 読者の広場「若者コーナー」

1年 田中 沙依（たなか さえ）さん

## タイトル：「友の力すごい 駅伝走り実感」

昨年末に校内駅伝大会がありました。この駅伝大会は、コロナ禍でも体力の向上を図り、同時にクラスの絆や団結力を高める目的で、昨年度から始まったものです。実際走ってみて、とてもきつかったのですが、チームのために頑張ることの大切さを学ぶことができました。

これまでも、小学校で長距離走を走ったことはありました。その時の私は、1人で走るせいか、きつくなるとスピードが落ちてしまったり、友達とおしゃべりをして走ってしまったりすることがありました。

しかし、中学生になってからは、新しい友達も増えて、何かに挑戦することが増えてきました。友達から誘われた朝練も、本番まで全力で頑張りました。

そして、本番当日。自分の番が来ると、これまでに経験したことがないほどの大きな声援を受けました。声援の大きさ、タスキをつなぐ責任の重さにとても緊張しましたが、途中できつくなった時は、「毎日、練習頑張ってるね」「一緒に頑張ろうね」という友達からの言葉を思い出し、自分の精いっぱいを出し、走り切りました。

走り終わった後、クラスの友達が駆け寄ってきて、笑顔で「頑張ったね」と言葉をかけてくれてとてもうれしく、頑張ってよかったと思えました。

チームのために走ると、練習よりも頑張れて自分でも成長できたなと感じています。改めて『友達の力』ってすごいなと思いました。